

雲南市立西小学校 心に残る文化財子ども塾

5月22日(水)には、雲南市立西小学校に伺いました。6年生31名の参加です。時間は60分。流れとしては、はじめに「奈良時代の西小校区」について、『出雲国風土記』に記されている様子や、発掘調査で判明したことなどを幾つか紹介しました。大原郡家跡とも目されている郡垣遺跡^{こおりがき}など、身近な遺跡には関心の度合いが違います。また、「奈良の大仏の実物大パネル」の組み立てを体験してもらい、実際の奈良の大仏がどれ程の大きさなのか、身をもって感じてもらいました。



▲ 土台(蓮華座)しかない状態からスタート



▲ 胴体部分まで仕上がりました！あと少し



▲ 完成です！バルコニーから大きさを実感



▲ 菩提僊那^{ぼだいせん}役の校長先生^{かいげん}による開眼です

【学習後の感想】

- ・『出雲国風土記』にのっていた西小校区のことをお話しされたのが心に残りました。
- ・実際の大きさをなまで見ると、自分の予想の大きさより3倍デカくてびっくりしました。いつか東大寺に行って実物を見たいと思いました。
- ・大仏さまをつくるのが意外にむずかしかったです。でも完成したときのうれしさがすごくあって、昔の人もこんな気持ちだったのかなと思った。

雲南市立西小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。